

# 広報の取組状況について

川崎市市制100周年記念事業・  
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS  
KAWASAKI 100th



# 市制100周年記念事業公式ウェブサイトの開設について



## 【トップページ】



◆2022年11月18日に開設

◆活動内容については随時更新

### <掲載トピックス>

- ・市制100周年PRポスターを作成！（12/22）
- ・実行委員会参画団体のロゴマーク使用を開始しました。（11/30）
- ・第1回市制100周年幹事会を開催しました。（10/27）

## 【活動内容】

### 第1回市制100周年幹事会を開催しました。

2022年10月27日

令和4年10月27日（木）、川崎デルタ内にある「Fujitsu Uvance Kawasaki Tower」にて第1回幹事会を開催しました。和やかな雰囲気の中、市制100周年記念事業の展開イメージや広報の方向性について議論を行いました。今後幹事会にて、実行委員会が行う記念事業の企画及び実施、広報等について検討を進めていきます。



### 市制100周年PRポスターを作成！

2022年12月22日

2024年の市制100周年に向けて、川崎市がPRポスターを作成しました。

PRポスターは、古い写真や風景を用いた各区の「目」を軸にまちのPRポスター7種と、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のステートメントポスターの全8種です。

令和4年12月22日（木）から、区役所などの市内公共施設や市内観光施設等に、ポスター及びサイネージ類が設置されます。



川崎のどんなところが好きですか。お気に入りの場所、ほっとするまちの仲間、ひとりひとりの「好き」をつなぎ、かけ合わせて、いっしょに川崎を育てていこう。このまちに暮らし、このまちを愛護してきた人たちの心に響きを伝えながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつないでいこう。いるいるなたちが集まる川崎だからこそ、多種多様なアクションも、つどつどと。100年目の川崎市ではじまるColors, Future! Actions。「好き」がめぐるまちづくりを、さあいっしょに。2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。



# 市制100周年記念事業ロゴ等の利用状況



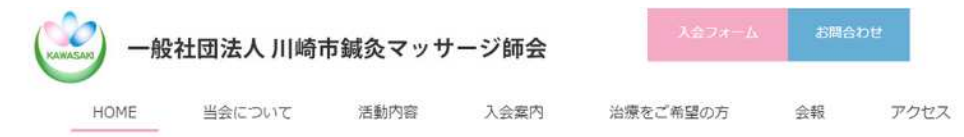
## ●経緯

2022年11月30日 実行委員会参画団体にロゴ活用について依頼

## ●利用状況

2022年12月20日時点

団体名	100 ロゴ	緑化 ロゴ	使用目的、方法	使用期間
富士通株式会社川崎工場	○		本館壁面への投影	2022年12月14日～ 12月16日
一般社団法人川崎市鍼灸マッ サージ師会	○	○	本会のホームページに掲載	2022年12月12日～ 2025年3月31日
かわさき市民放送株式会社	○	○	ホームページへの掲載、主催イベ ントチラシなど告知物への掲載	2022年12月20日～ 2025年3月31日

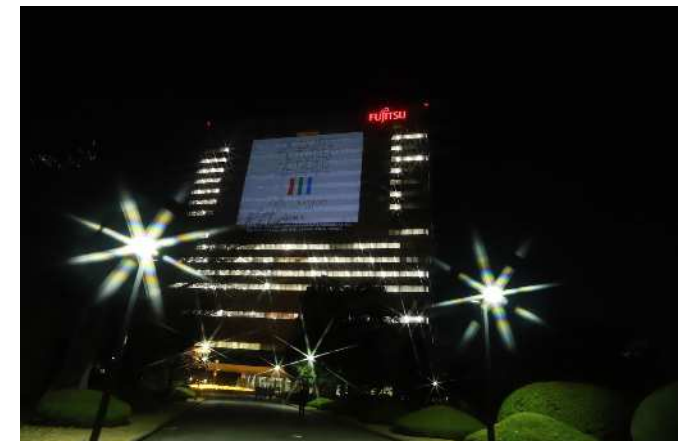


←川崎市鍼灸  
マッサージ師会の  
ホームページより  
抜粋



川崎市鍼灸マッサージ師会は、川崎市市制100周年と全国都市緑化かわさきフェアを応援しています。

富士通川崎工場→  
の投影の様子



# 市制100周年に係る市広報について



## ●市制100周年PRポスター

◆令和6(2024)年7月1日に迎える市制100周年に向け、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のステートメントポスターと、各区版ポスター7種の全8種を作成。

◆7区各区内で撮影された古い白黒写真等を用いて、各区の”昔”を知ってもらい、地域への興味を喚起するつくり。

◆各区版ポスターで地域への関心や愛着を高める一方で、共通コピー「Colors, Future! Actions」とステートメントにより、市全体としての一体感の醸成を図る。

※ステートメント版と各区版合わせて約5,000枚を掲出予定

## 【市制100周年記念事業ステートメント】

COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

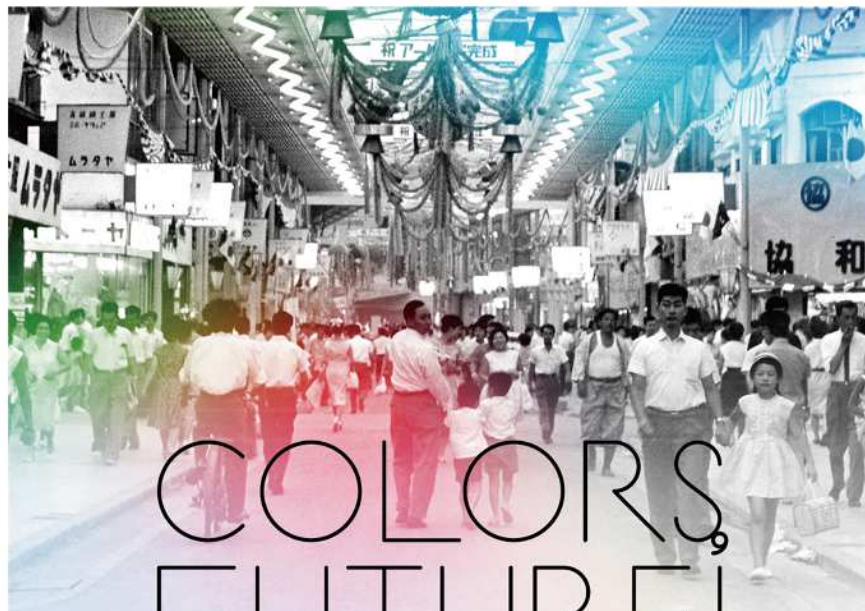
川崎のどんなところが好きですか。お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、いっしょに川崎を育てていこう。このまちに暮らし、このまちを発展させてきたたくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。100年目の川崎市ではじまるColors, Future! Actions。“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。



# 市制100周年に係る市広報について



【川崎区】銀柳街



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

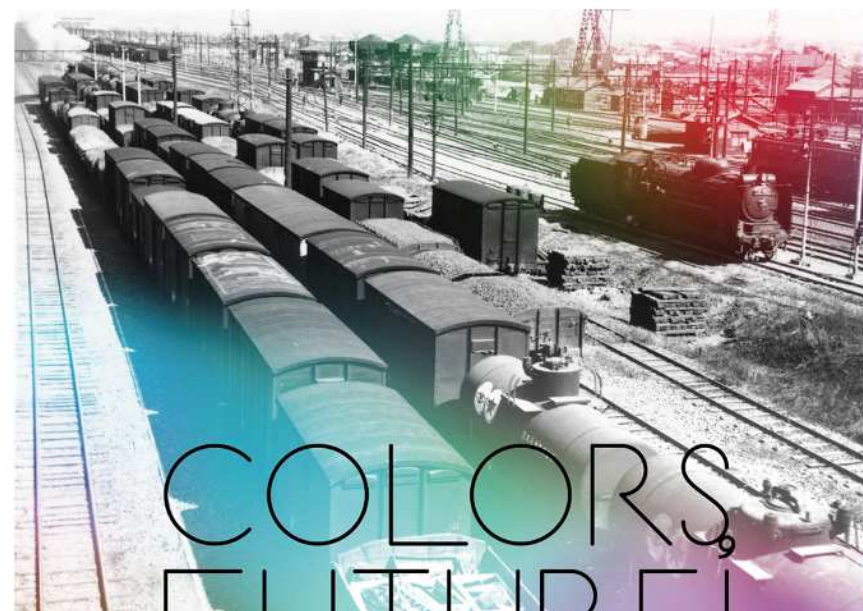
川崎のまちは、おもてなしの心で栄えるまち。

江戸から2番目の宿場町として、また川崎大師の門前町として発展してきた東海道川崎宿。旅する人々をおもてなしする心は引き継がれ、川崎駅周辺は現代においても食や遊びの文化が栄えるまちとして発展し続けています。私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

Photo: 川崎区 川崎駅周辺と川崎区役所ビル



【幸区】新鶴見操車場



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

貨物の拠点から、先端技術の拠点へ。新川崎は産業を育むふるさとです。

1929年に完成した新鶴見操車場。貨物輸送の拠点として東洋一の規模を誇り、京浜工業地域の発展を育みました。現在、新川崎駅に隣接するその跡地は最先端技術研究の拠点へと変貌。姿を変えても産業や技術を育む場所であり続けています。私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

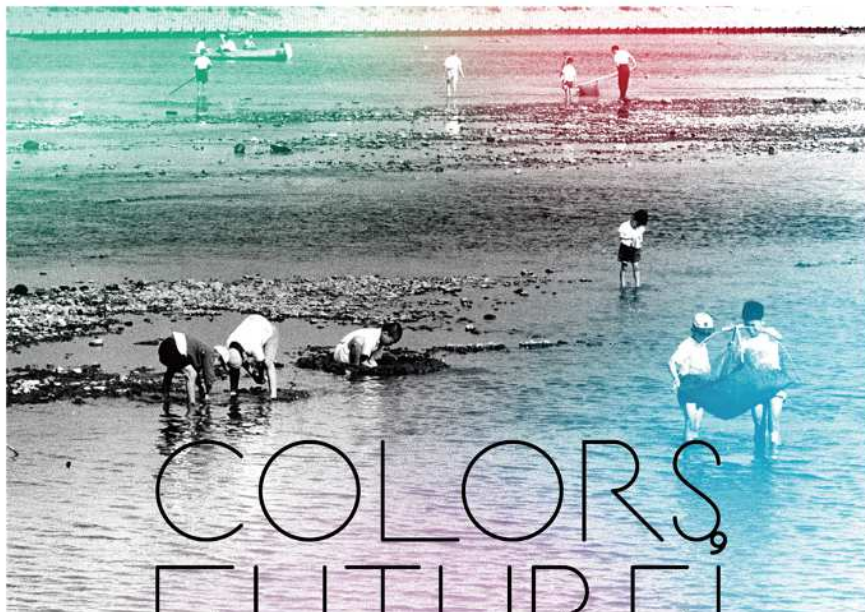
Photo: 幸区 新鶴見操車場 新川崎駅と川崎区役所ビル



# 市制100周年に係る市広報について



【中原区】多摩川 丸子橋付近



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

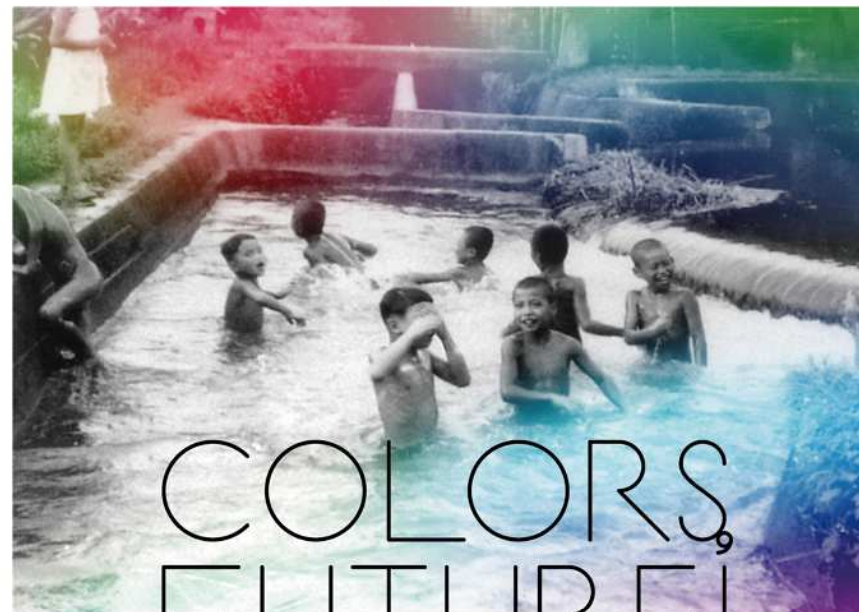
川崎の歴史には、いつも多摩川が流れている。

「あばれ川」とも呼ばれ蛇行を繰り返してきた多摩川。氾濫源となった土地が  
等々力緑地となり、現在では市民のレクリエーションの場として活用されています。  
川崎の歴史はつねに多摩川とともにある。等々力緑地はその1つの象徴でもあるのです。  
私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。  
100年目の川崎市ではじまるColors, Future! Actions。  
このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、  
未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、ざあいっしょに。

Photo / 中原区 広報課 丸ノ子地区 中原区民会館 川崎区民会館 川崎区民会館 川崎区民会館 川崎区民会館



【高津区】二ヶ領用水 久地円筒分水



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

川崎の発展を育んだ源は、二ヶ領用水でした。

地域の人々の尽力によって江戸時代に完成した二ヶ領用水。  
それは、農業用水、工業用水、そして飲み水をもたらす地域に欠かせない  
水脈として川崎の発展を支え続けてきました。  
私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。  
100年目の川崎市ではじまるColors, Future! Actions。  
このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、  
未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、ざあいっしょに。

Photo / 高津区 広報課 二ヶ領用水 久地円筒分水 川崎区民会館 川崎区民会館 川崎区民会館



# 市制100周年に係る市広報について



## 【宮前区】東名川崎インターチェンジ



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

日本の東西を結ぶ場所。ここが川崎の玄関口です。

川崎の「北の玄関口」とも呼ばれる東名高速道路の川崎インターチェンジ。

1968年の開通以来、半世紀以上にもわたって、

川崎の発展を支える交通の要衝であり続けています。

私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。

100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。

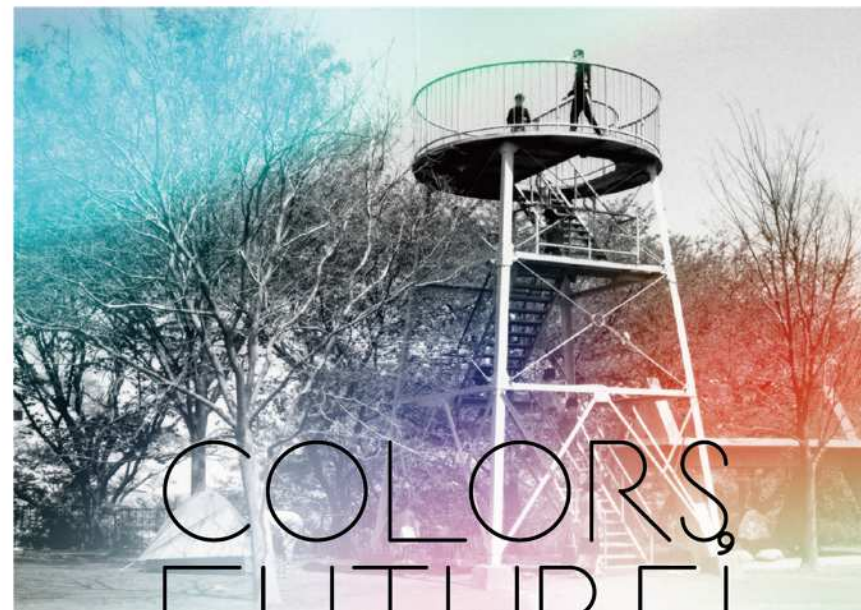
このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、

未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

Photo: (左側) 東名川崎インターチェンジ 2022年3月撮影 写真: (右側) 川崎市庁舎



## 【多摩区】生田緑地 柗形山展望台



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

時代が変わっても、変わらずまちを見守る山がある。

建久年間に稲毛三郎重成により築かれたという柗形城。

その城址は現代においても生田緑地の柗形山展望台として、

まちの発展と雄大な多摩川を見守る場所としてあり続けています。

私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。

100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。

このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、

未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

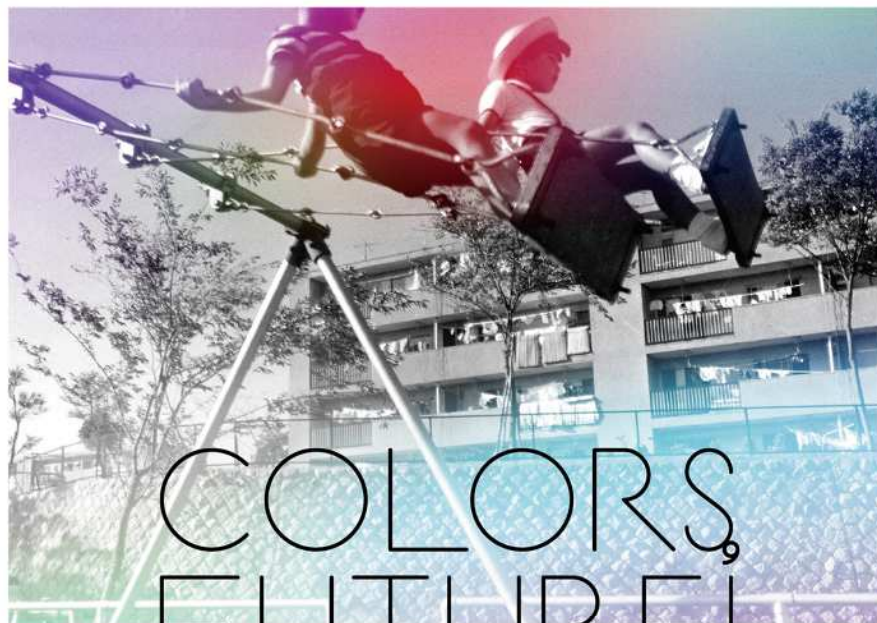
Photo: (左側) 生田緑地 柗形山展望台 川崎市立総合運動場跡地 写真: (右側) 川崎市庁舎



# 市制100周年に係る市広報について



【麻生区】百合ヶ丘団地



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

「暮らしてみたい川崎」のシンボルとなったまちづくり。

キッチンはステンレス、トイレは洋式、1960年に誕生した百合ヶ丘団地の建築デザインは当時の人々を魅了しました。御心に近く、緑ゆたかでモダンなまち。「暮らしてみたいベッドタウン」としての川崎北部のまちづくりは、まさにこの地域からはじまっていたのです。私たちの毎日も、きっとこの土地と歴史に刻まれていく。100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。このまちを発展させてきた人たちに感謝を込めながら、未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

Photo: 麻生区 麻生+長野園 川崎市職員（L）/アフレコ 麻生区 麻生+長野園



## 【掲出計画】

掲出期間：令和4年12月22日～令和6年3月31日

◆市内公共施設及び市内鉄道路線各駅へのポスター及びサインージ掲出

◆市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア  
実行委員会委員による掲示

⇒1月中旬以降に各委員にポスターを配付予定

◆その他民間施設等へ掲出



# 市制100周年に係る市広報について



## ●白黒写真カラー化プロジェクト

◆1年後の市制100周年に向け、川崎のこともっと知ってもらい、身近に感じてもらうために、まちの様々な白黒写真20枚をカラー化し、写真にまつわるストーリーを添えたパネル作品を制作

◆単にカラー化するのではなく、貴重な写真を提供してくださった方へのヒアリング等により、当時を知る市民の記憶をできる限り呼び覚まし、かわさきマイスターで印刷技能士の流石栄基さんによる色付け補正で再現

◆ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングでご支援をいただき実施

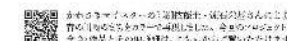


### 1963 多くの人びとが行き交う川崎駅前



提供:川崎市市民ミュージアム

川崎駅東口から見える通勤風景。  
川崎市営のバスには、臨海部の工場で働く人をはじめ多くの方が乗車。上着を羽織らず、半そでの人が多いので、季節は夏でしょうか。  
当時はまだ、バスに冷房はついていませんでした。  
このころ、川崎は、日本各地から集まった人たちの力で、目を見張る速度で発展していきました。  
写真正面奥、街路樹の後ろには  
市内で最初の百貨店「小美屋デパート（現在はDICE）」が見えます。



# 市制100周年に係る市広報について




1956 一日の終わり、夕日に包まれる武蔵小杉駅



提供: 村上猛氏

多摩川は古くは江戸時代から良質な砂利の採掘場となっていました。南武線武蔵小杉駅は、かつてはこの砂利を運ぶための駅として始まり、時代を経て、いまは1日に20万人以上が利用するターミナルになりました。この写真は、冬の平日、夕方の川崎方面ホームを撮影しています。子どもからお年寄りまで様々な方が利用している風景はこの頃から変わらずここに。

 このQRコードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、この写真の背景にある武蔵小杉駅の歴史や、多摩川沿いの風景に関する情報がご覧いただけます。

## 【広報計画】

広報開始: 令和5年1月5日

- ◆ 市役所・区役所などでパネルの巡回展示を実施
- ◆ 市ホームページにすべての作品を掲載



川崎市市制100周年記念「自然環境高質化」プロジェクトは、ガバナメントクラウドファンディングで実現した事業です。ご支援いただきました皆様へ、感謝申し上げます。



# 市制100周年に係る市広報について



## ● 市政だより1月号



約400年前の江戸時代、この辺りを領する人も在らず東海街道川崎宿でした。  
約60年前の昭和30年代、まちは大きく発展し、  
地元の人や地方から移り住んで来た人が行き交いました。  
いつの時代も、新しい人や文化を受け入れる心は大切に引き継がれ、  
99年目を迎える川崎市は多様性を可能性につなげて今も発展を続けています。

### 特集 2-3面 市制100周年まであと1年

#### 川崎の未来づくりを、さあいっしょに。



川崎市長 山田 昌徳

明けましておめでとうございます。すべての市民の皆さまにとりまして、本年が明るく楽しい一年となりますことを心から祈念いたします。

昨年を振り返りますと、3月には世界最先端のライフサイエンス分野の研究が進む川崎区鶴川地区のキャンパスカイトと羽田空港を結ぶ多摩川スカイブリッジが完成し、より直接的に川崎が世界への玄関口となりました。また、本市が政令指定都市となって半世紀の節目を迎え、併せて市内7区のそれぞれが区別50周年、40周年となり、改めて歴史を振り返るとともに、さらなる発展に向け歩み出しました。

さて、いよいよ今年が市制100周年の大きな節目で1年となり、併せて、市制100周年記念事業-全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が市内約3000の団体・企業との協賛で立ち上がり、さまざまな企画の準備が完了しました。

川崎市が誕生した99年前はわずか5万人の人口でしたが、今では30倍以上の約154万人の方が暮らしています。この間、さまざまな地域から多くの人が移り住み、川崎は大きく発展してきました。

本市のブランドメッセージである「Colors, Future! いろいろって、未来。」の通り、この多様性が可能性を育み、川崎市の発展の源泉になってきたのです。私たちの歴史に流れる種の深さを大切に、代々川崎に暮らす方も、今日から市民になられた方も改めて川崎を知り、関わり、好きになること、100周年後の新しい川崎へとつながる発展に挑戦してまいります。

これまでの発展を支えてくださった多くの方々に感謝を、100周年という大きな節目を迎える99年目の川崎を、市民の皆さまと共に歩んでまいります。

### 新型コロナウイルス感染症関連情報

風邪の症状が出たときの対応や、新型コロナワクチン接種などについてお知らせします。 [詳細は5面をご覧ください](#)

02
03

## Colors, Future! Actions

### 多様性を可能性につなげてきた川崎の99年間

**市の多彩な能力を表し将来像を示す「市ブランドメッセージ」**

「Colors, Future! Actions」のブランドメッセージは、多様性を可能性につなげてきた川崎の99年間の歴史を振り返り、未来への可能性を示す。市民の皆さまと一緒に「あたらしい川崎」を創り出す。

**川の未来づくりを、さあいっしょに。**

川崎の未来づくりを、さあいっしょに。川崎の未来づくりを、さあいっしょに。

**99年間の歩みを振り返る**

100年を振り返る。川崎の未来づくりを、さあいっしょに。

**川の未来づくりを、さあいっしょに。**

川崎の未来づくりを、さあいっしょに。

**100周年とその先の未来に向けて市ブランドメッセージを実現**

「あたらしい川崎」を生み出す「Colors, Future! Actions」

**一人一人の思いが重なって、まちの力に。**

一人一人の思いが重なって、まちの力に。

**「かわさきスペシャルサポーター」も100周年を盛り上げます**

「かわさきスペシャルサポーター」も100周年を盛り上げます。

**みんなで一緒に川崎の未来をつくらせよう**

みんなで一緒に川崎の未来をつくらせよう。

## ◆ 特集テーマ「市制100周年まであと1年」

99年間の歩みを振り返り、  
100周年とその先の未来に向けて、  
市民・企業・団体の皆さんと一緒に取り組むことについて特集